

れいわ ねんど だい かいしょうがいてうじしゃぶかい ようてんきろく  
令和4年度 第1回障害当事者部会 要点記録

【日時】 令和4年7月8日（金） 10時～12時

【場所】 文京シビックセンター3階 障害者会館

【出席者】 高山 直樹 （自立支援協議会 会長）

志村 健一 （自立支援協議会 副会長）

竹間 誠次 （知的障害）

河野 孝志 （身体障害）

永野 栄一郎 （知的障害）

石井 和代 （発達障害）

中山 雅美 （精神障害）

橋本 淳一 （区委員）

【事務局】 美濃口、関、林、太田 （文京区障害者基幹相談支援センター）

【欠席者】 小西 慶一 （身体障害）

【補助人】 松下 功一

鈴木 寛樹

【開会前に事務局からの連絡】

- ・会議録作成のため、会議内容の録音についての確認
- ・写真撮影についての確認

1. 当事者委員顔合わせ

障害者会館Cにて、当事者委員、自立支援協議会会長・副会長、障害福祉課長、事務局が出席し、資料第1号を用いて出席者より自己紹介を行う。

2. 民生委員との交流会

上記出席者が隣の障害者会館A・Bに移動。民生委員23名も参集。

## ●開会の挨拶 自立支援協議会 高山会長より

交流会を通して障害への理解や文京区の中でその人らしく生きるということはどういうことなのか一緒に考えていきたい。民生委員の方々、本当に一生懸命やっておられて感謝している。一住民としての出会いが最初であり、そこに障害は関係ないと思っている。住民の中には障害、高齢、家族の問題を抱えている方がいるので、住民との交流の中で次に障害の理解が深まってくる。今日をきっかけに色々な交流会の在り方も含めて考えていくことができたかなと思っている。

## ●議題

自立支援協議会志村副会長のインタビュー形式で進める。

### (1) 民生委員についての説明 民生委員代表より

・地域住民と行政との繋ぎ役（区役所、高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会等に連絡）

- ・町会から推薦を受け、厚生労働大臣から委託された非常勤の地方公務員。ボランティアとして活動。任期は3年だが、再任もある。
- ・民生委員・児童委員は全国に約23万人。文京区には151人。年齢は40代から70代まででおよそ75%が女性。
- ・特に関わることが多いのが高齢者（高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会との連携）
- ・障害者関係では、地域の作業所や施設の手伝い等、地域ごとに活動。
- ・防災活動にも力を入れており、災害が起きた時には区から預かっている避難行動要支援者名簿に掲載されている方の支援や見守りができるように避難所で活動する。
- ・4つの専門部会、高齢者、障害者、児童、生活福祉に分かれている。本日参加しているのは障害福祉部会のメンバー。

### (2) 当事者委員の自己紹介

事前に準備した下記3点について各委員より発表

#### ① 日々の暮らしについて

- ・グループホームを利用している。一人暮らしをしている。
- ・開業している。会社勤めをしている。福祉施設へ通所している。

#### ② ライフストーリー（人生の中の大きな出来事）

- ・出産したこと。親を亡くしたこと。
- ・障害に関して、知った時や進行した時

#### ③ 趣味、休日の過ごし方、ストレス発散法

- ・映画や演劇、音楽鑑賞、スポーツ観戦など
- ・ゲームセンターのメダルゲームで遊ぶ
- ・絵を描くなど
- ・おいしいものを食べる

### (3) 民生委員からの質問、意見交換

以前に集めた民生委員からの質問に対し、事前に当事者委員が回答を準備し、発表

① 病気や障害によって日常生活で困ることはどんなことですか

[当事者委員より]

- ・足に障害があるので長い時間立つことや重い物を持つのが大変。人が話していることが分からない、何て言ったらいいのかわからないことがある。
- ・発達障害の私が日々困ることは曖昧な表現。具体的に断定してくれると助かる。話していることに間違いが多く、言いたいことがうまく伝えられず、コミュニケーションがうまく取れない。聞く能力が低く、難しい会話、早口、同時にたくさんのことを言われると全く理解ができず、頭が真っ白になり身体がフリーズする。イレギュラー対応や臨機応変な対応も苦手。普通に見られてしまう場合も困る。
- ・見た目では障害があるのが分からないので理解してもらうのに時間が掛かる。
- ・視覚障害者は読むこと、書くこと、歩くこと。読むことは、点字であれば読めるが点訳には数日要するので資料が間に合わない。今日も半分資料がなくガイドヘルパーに読んでもらった。書くことは、限られた枠内に文字を書くのは至難の技。生まれつき全盲の人は自分の名前すらどう書いたらいいかわからない人も多い。歩くことは、通勤は一人でしているが、慣れない所や初めて行く所はガイドヘルパーの手を借りている。一番困るのが信号もそうだが駅のホーム。ホームドアができていて、線路に転落する視覚障害者がとても多い。私も二度落ちた。一度はとても怖い思いをした。
- ・一人で病院に行くことが出来ない。

② 手助けについて

- ・いつ、どんな時に必要ですか
- ・声を掛けてもいいですか
- ・何をしたいですか

[当事者委員より]

- ・施設の職員や社協が手助けしてくれているので今は特に必要ありません。
- ・パニックになった時に必要だが、自分でもどう助けが必要なのか、どういう合図を出したらいいかまだ分かっていない。声を掛けてもらうのは助かる。障害について聞いてもらえると嬉しい。紙に書きながら話してもらえると分かりやすい。
- ・精神の障害は分かりにくいので不安感が強くなった時に助けが必要。声を掛けて頂けると安心する。気軽に話しかけて頂けると助かる。
- ・視覚障害者の場合は、いつでも必要と思ってください。声はどんどん掛けてください。その時のコツは、傍に寄って話しかけると私自身話しかけられているのか近くの別の人に話しかけているのか判断がつきにくいので、肩や肘や腕の辺りをトントンと軽くたたいて声を掛けてもらえると自分に声を掛けてもらっているとはっきりする。どう手助けしていいかわからない時や案内に困る時には本人に聞いてください。声を掛けても断られることが多いと思いますが、その場合は慣れているのだなと思って「お気を付けてください」と見送っていただければ、そのうち手助けを頂きたい場面に巡り合うので。断られることにも慣れてくださいとよく言っている。そのうち絶対お願いされるので、何度も断られたからもういいやとなると寂しいのでよろしくお願ひします。

③ 民生委員への要望はありますか

[当事者委員より]

- ・避けないで頂けたら嬉しい。
- ・障害について身近に感じて頂ければと思う。
- ・避難行動の要支援者名簿を登録した。それが民生委員の方にも渡されていると聞いている。受け持ちのところの名簿登録をしている人がいれば障害者の人や要支援の人がいると分かると思うので一度お宅に伺って話を聞いて欲しい。また、受け持ちの区域を半年か一年掛けて全員のお宅を回って挨拶回りをしていただけたらと思う。

④ 意見交換

[民生委員より]

要支援者名簿をもらった時には訪ねて行って、拒絶されたとしてもこういう方だったんだとか、親しくなれた方は何かできることはないのかなとか色々な気づきができると思うので訪問はやはり大切なことだと思った。今日は本当に勉強になり、ありがとうございました。

[当事者委員より]

訪問する時に一人で行かないで複数人で行くのはどうか。知らない人といきなり話をするのは怖いと思うので複数で行けば知恵を出し合えるし、訪問される側も事前に知っていれば自分のサポーターに同席を頼める。

[民生委員より]

民生委員は地域に一人という形なので複数で訪問するのは難しいので町会の方と共同で行くことが大事だと思う。実際に地震が起きた時にどの程度できるかは不明だが、日頃から準備をしておかないとできない。個人情報もあるが、名簿を持っている者同士協力してやりたいと思う。

[当事者委員より]

民生委員の仕事は何ですか。

[民生委員より]

全ての人に共通することだが、御用聞きではない。困りごとを伝えて頂ければ個々の気持ちで対応をするが、継続的にやれない場合は然るべき機関に繋げて対処することになる。

[当事者委員より]

どなたでも構わないが、今までの経験の中で障害者の人から相談を受けて、どういう相談で、どこかに繋いだという事例があれば教えてください。

[民生委員より]

統合失調症の高齢の一人暮らしの方を訪問し、一度は門前払いだったが、一緒に高齢者あんしん相談センターに行ったり、通院に付き添ったりした。最終的には入院後、高齢者施設に入所されたが、とても喜ばれ、今もたまに電話で話している。

[高山会長より感想]

貴重な意見やこれから自立支援協議会がどういふことをしていかないとけないというヒントを与えられた。例えば、先ほどの意見で、複数で自宅に伺うのが良いといった時に、民生委員が複数ではなくて町会長さんや地域の人たちと一緒にいく。同時に、福祉施設が作る個別支援計画と相談支援専門員が作るサービス等支援計画の中に地域の人たちがもっと入り込んでいくのが大事。もう一つは、相談というのは複合的にあるのもっとネットワークを組んでいくやり方も必要。問題が起きる前に関係性ができるかどうか。あるいは、おかしいなど察知していくような形を地域の中で作っていく。そういう意味では、事業所と繋がっていくというのが非常に大事。色んなルートやネットワークを構築しなければいけないというところが見えてきた。民生委員の方も色んな自立支援協議会の中に入っていただいて、作り出した事例を発表してシェアしていくといいと思った。ありがとうございました。

●閉会挨拶 障害福祉課 橋本課長より

今日話題となった避難行動要支援者名簿については障害者の方と地域の方が繋がるきっかけにもなるとおもうので、差し支えなければ関係部署と共有させていただければとおもう。本日はありがとうございました。

3. その他連絡事項

事務局：次回部会の日程は決まり次第連絡。